

北海道エアシステム、ATR42-600型機を2020年春より就航

～特別塗装デザインの初号機にて皆さまをお迎えします～

2019年7月29日

第 19007号

北海道エアシステム(以下、HAC)は、現在の保有機材 SAAB340B 型機を 2020 年から、ATR42-600 型機(以下、ATR 型機)に順次更新することを発表しております(*1)。記念すべき初号機(機番:JA11HC)には特別塗装デザインが施されており、2020 年夏期ダイヤ(3 月 29 日～)より運航を開始します。

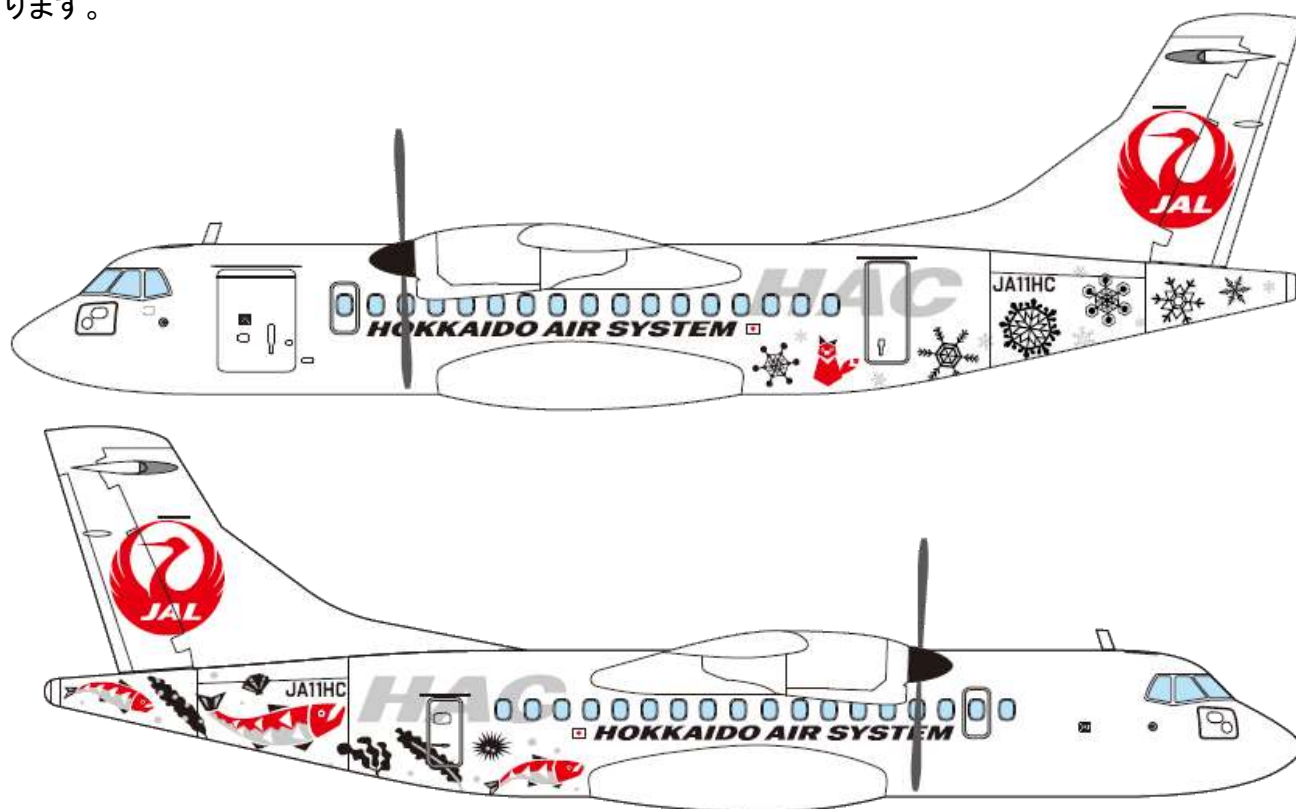
(*1) 2018 年 7 月 18 日付共同リリース「北海道エアシステム、ATR42-600 型機発注に関する覚書を締結」参照

URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/201807/004806.html>

北海道では初導入となる ATR 型機は、高い快適性と環境性能(低燃費、低騒音)を兼ね備え、寒冷地での運航実績を持つ最新鋭ターボプロップ機です。HAC は北海道内を中心に「道民の翼」としてこれまで培ってきた安全運航体制のもと、新機材でも快適な移動空間を提供してまいります。

初号機に施される特別塗装デザインは、HAC として初めてとなる機材更新へ向け、HAC 社員それぞれの北海道への思いを託し、北海道出身のデザイナー鈴木 奈々瀬(すずき ななせ)氏(株式会社ライトパブリシティ所属)がふるさと北海道の大自然を想いイメージしたデザインに決定しました。デザインコンセプトは、北海道の豊かな海と、美しい雪が舞い降る大地をイメージしています。機体左右で異なるデザインを採用しており、機体左側には6つの就航地を雪の結晶で表現し、ワンポイントにキタキツネが隠れています。機体右側には、シャケ、コンブ、ウニなどの北海道の特産品が描かれています。

HAC はこれからも、地域を支える航空ネットワークの担い手として、愛される航空会社を目指してまいります。



特別塗装機デザイン(イメージ)

【概要】

1. 受領・就航スケジュール(予定):

	国籍および登録記号	受領	就航
初号機	JA11HC	2019年11月	2020年3月29日～
2号機	JA12HC	2020年9月	2020年10月～

※関係当局の認可を前提としております。また、就航開始日は変更となる場合があります。

2. 初号機就航路線:

札幌(丘珠)=函館、釧路線を中心に、土日、連休などは観光需要にもお応えできるダイヤ編成を予定しております。

3. 予約販売開始:

2019年9月10日(火) 9時30分

4. 仕様・特徴:

- ・現行の SAAB340B 型機と比べてひと回り大きくなった機体には、後方のドアよりご搭乗いただきます。また、主翼は機体上部の窓の上であり、どの席からも外の風景を広くお楽しみいただけます。
 - ・客室内は、JAL 国内線で運航されている「JAL SKY NEXT」仕様に準じた全席革張りシート、カラーリングを採用しています。
 - ・LED 照明を採用し、ARMONIA デザイン(※)によって明るく快適な空間となっています。手荷物収納棚は、客席上部の両サイドに設置されています。
- (※)イタリア語で「ハーモニー(調和)」を意味し、イタリアのデザイナー「ジウジアーロ」が設計した客室デザイン。ゆとりある作りが特徴であり、シカゴ・アテネウムのグッドデザイン賞を受賞している。

5. 諸元

	ATR42-600	(参考) SAAB340B
全長×全幅×全高(m)	22.7×24.6×7.6	19.8×22.8×7.0
エンジン	プラット&ホイットニー カナダPW127M	ゼネラル・エレクトリック社 CT7-9B
座席数	48	36
巡航速度(km/h)	556	524
航続距離(km)	1,326	759
貨物室(m ³)	9.6 (前方:4.8, 後方:4.8)	6.8



シートレイアウト



6. 新機材導入に向けたスケジュール(予定)

2019年

7月29日

初号機デザイン発表

9月

2020年度サマースケジュール販売開始

11月

モデルプレーン機内販売開始、フランスにて初号機受領、鹿児島へ空輸

2020年

1~2月

丘珠空港到着、実機公開、各就航地での訓練フライト開始

3月

初就航セレモニー

以上